

# 令和5年 業種別災害発生状況

鹿児島労働局

業種別死傷災害発生状況									
業種	年	令和5年		令和4年		対前年			
						増減数		増減率	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業		2,240	14	2,090	13	150	1	7.2%	7.7%
1 製造業		440	4	376		64	4	17.0%	
1 食料品製造業		254	3	228		26	3	11.4%	
4 木材・木製品製造業		21		23		-2		-8.7%	
9 窯業土石製品製造業		22		20		2		10.0%	
11～12 金属製品製造業		30		21		9		42.9%	
13～15 機械器具製造業		43		30		13		43.3%	
上記以外の製造業		70	1	54		16	1	29.6%	
2 鉱業		9		6		3		50.0%	
3 建設業		304	3	283	5	21	-2	7.4%	-40.0%
1 土木工事業		102	1	113	3	-11	-2	-9.7%	-66.7%
2 建築工事業		150	1	137	1	13		9.5%	
3 その他の建設業		52	1	33	1	19		57.6%	
4 運輸交通業		211	1	200	2	11	-1	5.5%	-50.0%
1 鉄道・航空機業		5		5				0.0%	
2 道路旅客運送業		17		8		9		112.5%	
3 道路貨物運送業		189	1	186	2	3	-1	1.6%	-50.0%
4 その他の運輸交通業		0		1		-1		-100.0%	
5 貨物取扱業		22		29		-7		-24.1%	
1 陸上貨物取扱業		11		11				0.0%	
2 港湾運送業		11		18		-7		-38.9%	
6 農林業		106	1	98	2	8	-1	8.2%	-50.0%
1 農業		62		48		14		29.2%	
2 林業		44	1	50	2	-6	-1	-12.0%	-50.0%
7 畜産・水産業		111		119	1	-8	-1	-6.7%	-100.0%
8 商業		293	2	295	2	-2		-0.7%	
1 卸売業		37		43	1	-6	-1	-14.0%	-100.0%
2 小売業		229	2	221		8	2	3.6%	
3 理美容業		2		2				0.0%	
4 その他の商業		25		29	1	-4	-1	-13.8%	-100.0%
9 金融・広告業		23		15		8		53.3%	
11 通信業		25		25				0.0%	
12 教育・研究業		30		31		-1		-3.2%	
13 保健衛生業		387		355		32		9.0%	
1 医療保健業		149		141		8		5.7%	
2 社会福祉施設		226		207		19		9.2%	
3 その他の保健衛生業		12		7		5		71.4%	
14 接客娯楽業		112	1	109		3	1	2.8%	
1 旅館業		25	1	33		-8	1	-24.2%	
2 飲食店		66		55		11		20.0%	
3 その他の接客娯楽業		21		21				0.0%	
上記以外の事業		167	2	149	1	18	1	12.1%	100.0%
10 映画・演劇業		1		0		1		-	
15 清掃・と畜業		89		85		4		4.7%	
16 官公署		0		3		-3		-100.0%	
17 その他の事業		77	2	61	1	16	1	26.2%	100.0%
陸上貨物運送事業（4-3-5-1）		200	1	197	2	3	-1	1.5%	-50.0%
第三次産業（8～17）		1,037	5	979	3	58	2	5.9%	66.7%

- ① 死傷者数は、当月末までに発生した労働災害の被災者を翌月8日締めで集計したもの。
- ② 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上災害によるもので、死亡者を含みます。
- ③ 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。
- ④ 下段の陸上貨物運送事業（4-3-5-1）及び第三次産業（8～17）は、別計。
- ⑤ 死傷者数、死亡者数ともに新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

令和5年 業種別災害発生状況

鹿児島労働局

業種	事故の型別									年齢別				
	順位	令和5年	人数	割合	順位	令和4年	人数	割合		令和5年		令和4年		増減数 人数
										人数	割合	人数	割合	
全産業	1	転倒	555	24.8%	1	転倒	489	23.4%	～19歳	42	1.9%	22	1.1%	20
	2	墜落・転落	413	18.4%	2	墜落・転落	359	17.2%	20歳～29歳	254	11.3%	214	10.2%	40
	3	動作の反動・無理な動作	357	15.9%	3	動作の反動・無理な動作	347	16.6%	30歳～39歳	261	11.7%	266	12.7%	-5
	4	はさまれ・巻き込まれ	207	9.2%	4	はさまれ・巻き込まれ	215	10.3%	40歳～49歳	405	18.1%	389	18.6%	16
	5	切れ・こすれ	139	6.2%	5	切れ・こすれ	146	7.0%	50歳～59歳	550	24.6%	479	22.9%	71
									60歳～	728	32.5%	720	34.4%	8
製造業	1	転倒	121	27.5%	1	転倒	82	21.8%	～19歳	8	1.8%	6	1.6%	2
	2	はさまれ・巻き込まれ	74	16.8%	2	はさまれ・巻き込まれ	73	19.4%	20歳～29歳	61	13.9%	43	11.4%	18
	3	墜落・転落	58	13.2%	3	切れ・こすれ	52	13.8%	30歳～39歳	63	14.3%	65	17.3%	-2
	4	動作の反動・無理な動作	50	11.4%	4	動作の反動・無理な動作	48	12.8%	40歳～49歳	84	19.1%	70	18.6%	14
	5	切れ・こすれ	42	9.5%	5	墜落・転落	37	9.8%	50歳～59歳	108	24.5%	100	26.6%	8
									60歳～	116	26.4%	92	24.5%	24
建設業	1	墜落・転落	120	39.5%	1	墜落・転落	101	35.7%	～19歳	5	1.6%	1	0.4%	4
	2	切れ・こすれ	26	8.6%	2	はさまれ・巻き込まれ	32	11.3%	20歳～29歳	52	17.1%	20	7.1%	32
	2	激突され	26	8.6%	3	切れ・こすれ	31	11.0%	30歳～39歳	43	14.1%	37	13.1%	6
	4	はさまれ・巻き込まれ	25	8.2%	4	転倒	23	8.1%	40歳～49歳	48	15.8%	54	19.1%	-6
	5	転倒	24	7.9%	4	激突され	23	8.1%	50歳～59歳	60	19.7%	60	21.2%	
									60歳～	96	31.6%	111	39.2%	-15
陸上貨物 運送事業	1	墜落・転落	58	29.0%	1	墜落・転落	57	28.9%	～19歳	5	2.5%	1	0.5%	4
	2	動作の反動・無理な動作	31	15.5%	2	動作の反動・無理な動作	33	16.8%	20歳～29歳	11	5.5%	19	9.6%	-8
	3	転倒	30	15.0%	3	転倒	27	13.7%	30歳～39歳	31	15.5%	25	12.7%	6
	4	はさまれ・巻き込まれ	23	11.5%	4	はさまれ・巻き込まれ	22	11.2%	40歳～49歳	55	27.5%	44	22.3%	11
	5	交通事故（道路）	16	8.0%	5	激突	18	9.1%	50歳～59歳	62	31.0%	62	31.5%	
									60歳～	36	18.0%	46	22.3%	-8
林業	1	切れ・こすれ	17	38.6%	1	転倒	12	24.0%	～19歳	1	2.3%	0	0.0%	1
	2	飛来・落下	6	13.6%	2	激突され	10	20.0%	20歳～29歳	7	15.9%	4	8.0%	3
	3	墜落・転落	5	11.4%	2	切れ・こすれ	10	20.0%	30歳～39歳	4	9.1%	13	26.0%	-9
	3	激突され	5	11.4%	4	飛来・落下	6	12.0%	40歳～49歳	7	15.9%	8	16.0%	-1
	5	転倒	4	9.1%	5	動作の反動・無理な動作	4	8.0%	50歳～59歳	8	18.2%	9	18.0%	-1
									60歳～	17	38.6%	16	32.0%	1
第三次産 業	1	転倒	339	32.7%	1	転倒	309	31.6%	～19歳	20	1.9%	12	1.2%	8
	2	動作の反動・無理な動作	231	22.3%	2	動作の反動・無理な動作	226	23.1%	20歳～29歳	92	8.9%	95	9.7%	-3
	3	墜落・転落	142	13.7%	3	墜落・転落	125	12.8%	30歳～39歳	87	8.4%	99	10.1%	-12
	4	交通事故（道路）	83	8.0%	4	交通事故（道路）	64	6.5%	40歳～49歳	178	17.2%	168	17.2%	10
	5	激突	44	4.2%	5	激突	53	5.4%	50歳～59歳	262	25.3%	210	21.5%	52
									60歳～	398	38.4%	395	40.3%	3
小売業	1	転倒	80	34.9%	1	転倒	67	30.3%	～19歳	6	2.6%	4	1.8%	2
	2	墜落・転落	35	15.3%	2	動作の反動・無理な動作	40	18.1%	20歳～29歳	20	8.7%	14	6.3%	6
	3	動作の反動・無理な動作	34	14.8%	3	墜落・転落	37	16.7%	30歳～39歳	18	7.9%	23	10.4%	-5
	4	交通事故（道路）	28	12.2%	4	交通事故（道路）	27	12.2%	40歳～49歳	34	14.8%	34	15.4%	
	5	激突	13	5.7%	5	激突	13	5.9%	50歳～59歳	47	20.5%	47	21.3%	
									60歳～	104	45.4%	99	44.8%	5
社会福 祉施設	1	動作の反動・無理な動作	82	36.3%	1	動作の反動・無理な動作	83	40.1%	～19歳	2	0.9%	1	0.5%	1
	2	転倒	77	34.1%	2	転倒	71	34.3%	20歳～29歳	18	8.0%	13	6.3%	5
	3	墜落・転落	13	5.8%	3	墜落・転落	14	6.8%	30歳～39歳	16	7.1%	21	10.1%	-5
	4	激突	12	5.3%	4	激突	10	4.8%	40歳～49歳	36	15.9%	40	19.3%	-4
	5	交通事故（道路）	10	4.4%	5	激突され	6	2.9%	50歳～59歳	66	29.2%	47	22.7%	19
									60歳～	88	38.9%	85	41.1%	3
飲食店	1	転倒	18	27.3%	1	転倒	22	40.0%	～19歳	7	10.6%	5	9.1%	2
	2	高温・低温の物との接触	13	19.7%	2	切れ・こすれ	11	20.0%	20歳～29歳	10	15.2%	8	14.5%	2
	3	墜落・転落	12	18.2%	3	動作の反動・無理な動作	6	10.9%	30歳～39歳	3	4.5%	6	10.9%	-3
	4	切れ・こすれ	10	15.2%	4	高温・低温の物との接触	4	7.3%	40歳～49歳	10	15.2%	9	16.4%	1
	5	動作の反動・無理な動作	6	9.1%	5	墜落・転落	3	5.5%	50歳～59歳	14	21.2%	8	14.5%	6
									60歳～	22	33.3%	19	34.5%	3

※事故の型別について・・・上位5位までの型のみを表示しています。

※新型コロナウイルス感染症り患者を除く。



## 令和5年 死亡災害事例

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	令和5年 1 月	その他の事業	作業員・技能者	男	59	28年	転倒	その他の環境等	通行人が業務で使用する車両のそばに横たわっている被災者に気づき、診療所へ搬送した。その後、手術を行ったが災害発生から17日後に死亡。
2	令和5年 4 月	その他の建設業	技術者	男	53	20年	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	出張先での用務を終え帰社するため、乗用車で片側1車線の県道を走行中、反対車線にはみ出し、対向車のトラックと衝突したものの。
3	令和5年 5 月	その他の製造業	整備工	男	51	10年	墜落・転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	工場建物のスレート屋根上に設置されたスプリンクラーの補修作業を行っていた被災者が、スレートを踏み抜き約5.7m下のコンクリート床へ落下したものの。
4	令和5年 5 月	食料品製造業	作業員	男	25	5年	はさまれ・巻き込まれ	食品加工用機械	被災者は菓子の製造で使用する機械(攪拌機)内部の清掃作業を行っていたが、当該攪拌機内のプロペラ部分に巻き込まれた状態で発見されたもの。
5	令和5年 5 月	林業	林業作業員	男	54	2ヶ月	墜落・転落	伐木等機械	民有林の伐採現場において、被災者は木材グラップル機を操作し、複数本の伐倒木を走行集材機械の荷台に積み込む作業を行っていたところバランスを崩し、当該グラップル機とともに約30m下の斜面に転落したものの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
6	令和5年 5 月	食料品製造業	作業員	男	54	21年	高温・低温の物との接触	圧力容器	工場内にて、被災者は原料を煮るため圧力容器に原料を入れ、容器の蓋を閉めて圧力をかけていたが、圧力をかけずに煮る作業であったことに気づき、圧力容器から1.8m離れた位置にある操作盤で蓋を開ける操作を行ったところ、当該容器内の圧力が大気圧より高い状態で蓋が開いて内容物と蒸気が噴出し、全身火傷及び気道熱傷により被災した。被災後、病院で加療中であったが5月27日に死亡した。
7	令和5年 6 月	建築工事業	解体工	男	41	14年	墜落・転落	建築物、構築物	ビル解体工事現場において、地上7階部分の塔屋の解体作業中、作業場所から約25m下の躯体と作業用足場間のアスファルト地面に墜落したものの
8	令和5年 6 月	小売業	店員	女	55	10年	墜落・転落	トラック	被災者は店舗敷地内に止めていたトラック(最大積載量1.8t)の荷台に約18kgのごみ袋を積み込む作業に向かった。その直後、店長がごみを運びに当該トラックに向かったところ、トラック後方の地面に仰向けで倒れていた被災者を発見したもの。救急搬送後、病院で加療していたが、意識が戻らないまま5日後に死亡した。
9	令和5年 8 月	警備業	警備員	男	57	1年	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	被災者とは別会社に所属する運転手が運転するワンボックス車の助手席に被災者が同乗し、荷物を輸送中、ワンボックス車が片側2車線の中央分離帯に接触し、反動で同走行車線の左側の車線に跳ね返され、その勢いそのまま車線反対側のフェンスをなぎ倒し、10メートルの崖下に墜落した。助手席の被災者は死亡し、運転者は負傷した。
10	令和5年 8 月	土木工事業	運転者	男	60	30年	崩壊・倒壊	地山、岩石	太陽光発電所新設に伴う造成工事現場において、高さ約40メートルの盛土法面の下方で堆積した土砂をドラグショベルを用いてダンプトラックに積み込む作業を行っていたところ、盛土法面が崩壊し、土砂がドラグショベルの運転席に入り込んで生き埋めとなったもの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
11	令和5年 9 月	旅館業	作業員	男	32	14年	墜落・転落	建築物、構築物	施設内で清掃業務を行っていた被災者が業務終了時刻を過ぎても事務所に戻らなかったため、従業員が施設内を捜したところ、露天風呂の床面で頭部から血を流して倒れている被災者を同僚が発見したものの。
12	令和5年 10 月	一般貨物自動車 運送事業	作業員	男	66	1年	飛来・落下	フォークリフト	事業場構内にて、重さ1.7tの空コンテナを置場に移動させるためフォークリフトで運搬していたところ、空コンテナがフォークリフトから落下し、置場で清掃作業を行っていた被災者が当該コンテナの下敷きになったものの。
13	令和5年 11 月	小売業	作業員	男	67	47年	墜落・転落	開口部	被災者の親戚から「架電中に通話不能となった」旨の連絡が事業場にあったため、事業場の労働者らが事業場内を確認したところ、事業場敷地内倉庫の1階にて、出血しつつぶせの状態で見つかる被災者を見つけたものの。
14	令和5年 12 月	食料品製造業	作業員	女	77	6年	墜落・転落	地山・岩石	事業場所有の農園にて、被災者は草刈り作業が一段落して休憩をとっていたが、用を足してくると同僚に伝えて休憩場所を離れた後戻ってこなかったため、捜索したところ、農園脇の崖下の沢で倒れている被災者を見つかり、死亡が確認されたものの。